

[農林水産省]

新しい日本のための優先課題推進枠（定量的試算・エビデンス）

事業名	定量的試算・エビデンス	施策の概要	要望額 (千円)
次世代施設園芸地域展開促進事業	次世代施設園芸拠点で得られた知見について普及を図り、新たな施設整備に係る費用の削減に繋げることで、約8億円の歳出削減が可能。	次世代施設園芸の各地域への展開を促進するため、これまでに整備された次世代施設園芸拠点における成果や取組に関するセミナー等による情報発信、拠点における実践的な研修等を支援するとともに、拠点で得られた知見を活用した施設園芸団地づくりを支援。	1,240,000
多面的機能支払交付金	農業者等による水路、農道等の地域資源の保全活動のための共同活動を支援することによって、約326億円の歳出削減が可能。	農業者等で構成される活動組織が農地を農地として維持していくために行う地域活動や、地域住民を含む活動組織が行う地域資源の質的向上を図る活動に交付金を交付。	51,250,500
都市農業機能発揮対策事業	地震などの大規模な災害が発生したときに避難空間等に利用するため、無償での利用を前提に農家と自治体間で協定を締結する防災協力農地の確保を支援することにより、災害対策費8億円の歳出削減が可能。	都市農業の多様な機能の発揮を促進するため、国土交通省と連携し、都市農業に関する制度の検討を実施するほか、都市農業の意義の周知、災害時の避難地としての農地の活用、福祉農園の開設を支援。	250,000
農業農村整備事業	施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理の推進により、更新等整備コストの4割削減を現しているところであり、引き続き取組を続けることによりライフサイクルコストの低減が可能。	農業水利施設の老朽化が進行する中、将来にわたって施設機能の安定的な発揮を図るため、点検、機能診断及び監視を通じた適切なリスク管理の下での計画的かつ効率的な補修、更新等により、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理を推進。	87,309,000
森林・山村多面的機能発揮対策	地域住民等が行う路網等の補修・機能強化の活動を支援することによって、約2.4億円の歳出削減が可能。	森林の有する多面的機能を発揮するため、地域住民、森林所有者、自伐林家等が協力して行う、森林の景観保全活動、広葉樹等の森林資源を活用するための伐採・搬出活動、森林を利用した環境教育等の取組を支援する。	2,500,000
森林整備事業	間伐等の約3割を占める2回目以降の搬出間伐について、森林作業道開設補助を原則対象外とすることにより、間伐等に係る森林作業道開設コストを約3割削減することが可能。 林業専用道の改良を支援対象とすることにより、災害を原因とする機能低下の防止を図ることで、災害復旧事業を実施する場合と比較して約2割のコスト削減が可能。	林業の成長産業化の実現と森林吸収源対策の着実な実施のため、効率的な施業方法の導入により森林整備の低コスト化を推進するとともに、既存の林業専用道の機能強化、長寿命化を図る。	33,100,000
治山事業	既存の治山ダムを活用し、防災機能の強化を図りつつ、長寿命化対策を行うことにより、施設を新設する場合と比較して約2割のコスト削減が見られるところであり、引き続き取組を続けることによりライフサイクルコストの低減が可能。	「林野庁インフラ長寿命化計画（行動計画）（平成26年8月策定）」を踏まえ、計画的に治山施設の維持管理・更新等を実施し、既存の治山施設の長寿命化を図る。	16,131,000

事業名	定量的試算・エビデンス	施策の概要	要望額 (千円)
水産多面的機能発揮対策	漁業者等による藻場・干潟の保全に係る活動を支援することによって、16.5億円の歳出削減が可能。	漁業者等が行う海難救助、藻場・干潟の保全等の地域活動を支援。	2,950,000
水産基盤整備事業	施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理の推進により、施設を単純更新する場合と比較して約6割のコスト削減が見られるところであり、引き続き取組を続けることによりライフサイクルコストの低減が可能。	水産業の成長産業化に向け、漁港施設等の老朽化が進行する中、将来にわたって安定的な機能の発揮を図るため、防波堤の補修等既存の漁港施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理を推進。	19,145,000
農山漁村地域整備交付金	<p>【農業農村分野】</p> 施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理の推進により、更新等整備コストの4割削減を実現しているところであり、引き続き取組を続けることによりライフサイクルコストの低減が可能。	<p>【農業農村分野】</p> 農業水利施設の老朽化が進行する中、将来にわたって施設機能の安定的な発揮を図るため、点検、機能診断及び監視を通じた適切なリスク管理の下での計画的かつ効率的な補修、更新等により、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理を推進。	28,298,000
	<p>【森林整備分野】</p> 林道橋の点検診断・補強等を実施することにより、対象となる林道橋を新設する場合と比較して林道橋に係る更新等整備コストの約4割の削減が見られるところであり、引き続き取組を続けることによりライフサイクルコストの低減が可能。	<p>【森林整備分野】</p> 「林野庁インフラ長寿命化計画（行動計画）（平成26年8月策定）」を踏まえ、計画的に林道施設の維持管理・更新等を実施し、既存の林道施設の長寿命化を図る。	
	<p>【治山分野】</p> 既存の治山ダムを活用し、防災機能の強化を図りつつ、長寿命化対策を行うことにより、施設を新設する場合と比較して約2割のコスト削減が見られるところであり、引き続き取組を続けることによりライフサイクルコストの低減が可能。	<p>【治山分野】</p> 「林野庁インフラ長寿命化計画（行動計画）（平成26年8月策定）」を踏まえ、計画的に治山施設の維持管理・更新等を実施し、既存の治山施設の長寿命化を図る。	
	<p>【水産分野】</p> 施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理の推進により、施設を単純更新する場合と比較して約6割のコスト削減が見られるところであり、引き続き取組を続けることによりライフサイクルコストの低減が可能。	<p>【水産分野】</p> 水産業の成長産業化に向け、漁港施設等の老朽化が進行する中、将来にわたって安定的な機能の発揮を図るため、防波堤の補修等既存の漁港施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理を推進。	